

コープで
広がる、
つながる

秋の生産者交流会「稲刈り」

「特別栽培米 栃木コシヒカリ森の水車」を生産する「那須山麓土の会」の皆さんと、体験型の交流会を毎年開催しています。生産者・組合員・役員が「田植え」・「小川の生き物観察」・「稲刈り」などを通じて交流を深め、お米づくりについて楽しく学んでいます。



10月、今年度最後の交流会が開催されました。皆が楽しみにしていた収穫です。まずは、「バケツ稲」。自宅で育ててきた稲を刈って持ち寄り、いよいよ「お米」にします。手作業で脱穀し、粳摺り・選別の後、精米機にかけピカピカの「白米」のできあがり！子ども達が精米機を覗き込み、「たくさんできた！」と喜んだり「お米になったらチョットだなあ」と悔しがったり。

次は田んぼで鎌を使って稲刈り。その後は、昔の足踏み式脱穀機を使っての脱穀体験。初めてのことも生産者さんに教えていただき、大人も子どもも夢中になります。お昼には、炊きたての新米で作ったおにぎりと、「お米育ち豚」を使った豚汁をいただきました。「稲刈りも脱穀・精米も、昔はこんな大変なことを手作業でやっていたのかと思う。今に稲作を伝えてくれたことに感謝したい」「久しぶりに皆様でご飯が食べられて最高でした。おいしかったです！」といった感想が寄せられました。

来年も交流会を開催します。参加者募集案内は「ほっとインフォメーション」3月号に掲載予定です。